

平成 30 年度 事業計画（概要）

1 総括

- 法人全体においては、29 年度に引き続き、社会福祉法の改正による社会福祉法人制度改革に適切に対応するとともに、経営理念・経営方針に基づき「質の高いサービスの提供」「人材育成と働きがいのある職場づくり」「地域に貢献する施設づくり」「経営基盤の強化・健全化」に取り組む。
- 主に特定職職員や非正規職員を対象とした職員の待遇改善、放課後等デイサービスの開始、先進的介護機器の整備を社会福祉充実計画により実施する。
- これまで宿泊型自立訓練事業所であったどうご清友寮を、既存 7 か所のグループホームのバックアップ機能を有した共同生活援助事業所として業態変更し、運営を開始する。
- 障がい者スポーツ協会事務局においては、県内特別支援学校の地域拠点としての整備や企業の社会貢献活動として開催するイベントへの支援など愛媛県から新たに受託する事業により、県内障がい者スポーツの拠点づくりや普及・啓発に取り組む。

2 施設の定員等

施設区分		定員	住所
事務局		—	松山市道後町二丁目 12-11
直 営 施 設	しげのぶ清流園	生活介護 55 名 施設入所 40 名 短期入所 5 名 放課後等デイサービス 5 名	東温市田窪 2119 番地 1
	しげのぶ清愛園	生活介護 34 名 自立訓練 6 名 就労移行支援 10 名 就労継続支援（B 型）20 名 施設入所支援 40 名 短期入所 5 名 共同生活援助 18 名	東温市田窪 2119 番地 1
	道後ゆう	施設入所 40 名 生活介護 35 名 自立訓練 15 名 就労移行支援 10 名	松山市道後今市 1-2
	ほほえみ工房ぱれっと道後	就労継続支援（B 型）40 名	松山市道後町二丁目 12-10
	どうご清友寮	共同生活援助 37 名	松山市道後今市 1-7 他
	福祉工房いだい清風園	生活介護 40 名 就労継続支援（B 型）15 名 施設入所支援 50 名	松山市下伊台町 1048-2
	ほほえみ特定相談支援事業所	—	松山市道後町二丁目 12-11

指定管理施設等	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	20 世帯	松山市道後今市 12-30
	愛媛県身体障がい者福祉センター	—	松山市道後町二丁目 12-11
	愛媛県障がい者更生センター (道後友輪荘)	(宿泊) 45 名	松山市道後町二丁目 12-11
	愛媛県視聴覚福祉センター	—	松山市本町六丁目 11-5
	えひめ障がい者就業・生活支援センター	—	松山市道後町二丁目 12-11
	愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—	松山市道後町二丁目 12-11

3 事務局の主な取組み

- ・評議員会、理事会その他会議に関すること
- ・定款、細則及び諸規程に関すること
- ・職員の人事、給与等に関すること
- ・事業計画及び予算に関すること
- ・事業報告及び決算に関すること
- ・社会福祉充実計画に関すること
- ・資金の計画、調達及び運用に関すること
- ・県からの受託事業に関すること

4 各施設の主な取組み（概要）

○しげのぶ清流園～放課後等デイサービスの開始とノーリフトケアの推進～

- ・身体障がい児を対象とした放課後等デイサービスを開始する。障がい児や保護者のニーズに寄り添い、学習面、行動面、コミュニケーション面など様々な角度から自立支援を行う。また、家族や特別支援学校等との連携を図りながらより良いサービスを提供する。
- ・介護機器等を整備する等ノーリフトケア（抱え上げない介護）の推進により安全な介護を目指し、職員だけでなく利用者の負担を軽減し、介護の質の向上に繋げる。

○しげのぶ清愛園～地域住民との連携や協力とふれあいの店の活性化～

- ・地域に開かれた施設として地域行事（イベントの準備・清掃活動等）への参加、学校との交流など、地域との積極的な連携の促進に努める。
- ・29年度に改装したふれあいの店において、商品の多様化や利便性の向上により、販売活動の充実を図る。

○道後ゆう

～リハビリ機器導入によるサービスの向上と介護機器の整備による安心安全な介護の提供～

- ・新たなリハビリ機器を導入し、利用者一人ひとりの身体状況に沿った訓練を実施するとともに、

訓練効果の可視化により、早期回復に繋げる。また、関係機関等への PR を強化し、利用者の確保に努める。

- ・浴室天井リフト等介護機器を整備し、利用者への安心・安全なサービス提供、質の向上に努めるとともに、職員の負担軽減を図る。

○ほほえみ工房ぱれっと道後～工賃向上の推進と衛生環境の整備～

- ・利用者の社会的自立を目的に、各種作業を通じて前年度を上回る工賃支給額の確保に努める。
- ・施設内の男女トイレ及び洗面所を改修し、バリアフリー化を図ることで利用者全員の衛生面や利便性の向上を図る。

○どうご清友寮～宿泊型自立訓練事業から共同生活援助事業への業態変更～

どうご清友寮は、既存 7 か所のグループホームとともに、これらに対するバックアップ機能を有しつつ共同生活援助事業を実施する。

○福祉工房いだい清風園～介護機器の導入整備と伊台地区買物支援事業～

- ・介護機器を整備することで、重度・高齢化が進んでいる利用者への介護を安全に行うとともに職員の負担軽減に繋げる。
- ・伊台地区居住の外出に不便を感じている障がい者や高齢者等を対象に、月 1 回程度、商業施設等までの送迎・買物支援を地域における公益的取組みとして実施する。

○ほほえみ特定相談支援事業所

地域及び施設で生活する障がい児・者に対し、福祉サービス等利用計画を作成し、生活の質の向上を支援する。

○愛媛県立愛媛母子生活支援センター

精神的不安定を抱えた母親が、安定した気持ちで子どもに向き合えるよう関係機関との連携を強化する。母親が個人として大切にされていると実感できる行事として「母親講座」を実施する。また、利用者の状況に即した社会資源の活用についても支援し、退所後の円滑な地域での自立に繋げる。

○愛媛県身体障がい者福祉センター

施設機能の効果的な活用と質の高いサービス提供のために、障がい者スポーツ協会と一体的に取り組み、事業の充実を図る。

○愛媛県障がい者更生センター

調理師増員による四季会席メニューの充実や地産地消の推進に向けた料理の提供及び高齢者や幼児が食べやすい食材を使ったメニューの開発等に努める。また、提供する食事の食品残さ発生の抑制や減量に取り組む。

○愛媛県視聴覚福祉センター

視聴覚障がい者の自立及び社会参加を促進するための拠点としての機能を発揮し、利用者のニーズに合った情報支援、障がい特性に応じた計画的な訓練を実施する。特に、視覚障がい者生活訓練を担当する専門職を養成し支援体制の充実を目指す。

○えひめ障がい者就業・生活支援センター～職場定着支援と企業の障がい者雇用理解促進～

・企業・事業所訪問等を通して、関係機関との連携のもと、課題の抽出、解決を支援し、職場定着率を上げ、離職率低下を目指す。

・障がい者雇用実施企業の見学会を実施し、県内企業の障がい者雇用に対する理解促進を図る。

○愛媛県障がい者スポーツ協会事務局

- ・県内特別支援学校を障がい者スポーツの地域拠点と位置付け、普及・啓発活動を実施
- ・東京パラリンピック出場等を目指す県内在住パラスポーツ選手や次世代アスリートへの補助
- ・企業とアスリートをつなぐマッチング事業の実施
- ・企業のCSR活動（社会貢献活動）として開催するイベント開催経費への補助
- ・全国障害者スポーツ大会の正式種目である団体競技チーム（7競技12チーム）への補助